野菜の生育状況及び価格見通し(平成27年12月)について (東京都中央卸売市場における<mark>主産地及び卸売会社からの聞き取り</mark>による)

(総論)

品	目			現	在	Ø	生	育	状	況
根	菜 類 (だいこん及びにんじん)	頁	生育は順調。							
葉	茎 菜 類 (はくさい、キャベツ等)	頁	生育は順調。							
果	菜 類 (きゅうり、なす等)	頁	生育は順調。							
土(ば	物 類 れいしょ、さといも及びたまねぎ		生育及び収穫は順調。							

(各論)

品目	主産地 「※()書きは)	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し (平年(直近5か年平均)比)	
	昨年12月の 入荷シェア		12月前半	12月後半
だいこん	千 葉(52%) 神奈川(38%)	 前月は、関東の産地において、9月下旬以降、好天かつ適度な降雨等により、肥大が良好となったことから、出荷数量が平年を上回ったため、価格は平年を下回って推移。 12月前半は、関東の産地において、前月に引き続き出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。 12月後半は、関東の産地において、天候が平年並みに推移すれば、出荷数量、価格ともに平年並みに回復する見込み。 	で推移	平年並み に回復

にんじん	千 葉(84%)	・ <u>関東の産地</u> において、 <u>生育が順調</u> であることから、 <u>出荷数量、価格ともに</u> <u>平年並みで推移</u> する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
はくさい	茨 城 (93%)	・ 関東の産地において、生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに 平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並みで推移
キャベツ	愛 知 (41%) 千 葉 (37%) 茨 城 (10%)	・ <u>東海及び関東の産地</u> において、 <u>生育が順調</u> であることから、 <u>出荷数量、価格ともに平年並みで推移</u> する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
ほうれんそう	群 馬(39%) 茨 城(17%) 千 葉(16%)	 前月は、<u>関東の産地</u>において、<u>10月中旬以降、気温が高めに推移し、適度な降雨があった</u>ことにより、<u>生育が平年を上回った</u>ことから、<u>出荷数量が平年を上回った</u>ため、<u>価格は平年を下回って推移。</u> 12月は、<u>関東の産地</u>において、前月に引き続き<u>出荷数量が平年を上回る</u>ため、<u>価格は平年を下回る</u>見込み。 	で推移	安値水準で推移
ね ぎ	千 葉(24%) 茨 城(18%) 埼 玉(17%)	・ <u>関東の産地</u> において、 <u>生育が順調</u> であることから、 <u>出荷数量、価格ともに</u> <u>平年並みで推移</u> する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
レタス	静 岡(22%) 兵 庫(15%) 長 崎(14%) 茨 城(14%)	 前月は、関東及び近畿の産地において、10月下旬以降、気温が高めに推移し、適度な降雨があったことにより、生育が平年を上回ったことから、出荷数量が平年を上回ったため、価格は平年を下回って推移。 12月前半は、東海、近畿、九州及び関東(出荷終期)の産地において、引き続き出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。 12月後半は、東海、近畿及び九州の産地において、気温が平年並みに推移すれば、生育が落ち着き、出荷数量、価格ともに平年並みに回復する見込み。 	で推移	平年並みに回復
きゅうり	宮 崎(39%) 千 葉(21%) 高 知(17%)	・ 前月は、九州、関東及び四国の産地において、10月下旬以降、気温が高めに推移したこと等により、着果数が多く確保されたことから、出荷数量が平年を上回ったため、価格は平年を下回って推移。 ・ 12月前半は、九州、関東及び四国の産地において、前月に引き続き出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。 ・ 12月後半は、収穫時期を迎える着果数が、現在平年並みであることから、出荷数量、価格ともに平年並みに回復する見込み。		平年並みに回復

なって		高 知(60%) 福 岡(19%)	・ <u>四国及び九州の産地において、生育が順調</u> であることから、 <u>出荷数量、価格ともに平年並みで推移</u> する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
トマ	1	熊 本(46%) 愛 知(17%) 栃 木(11%)	 前月は、九州の産地において、10月下旬以降、気温が高めに推移し、日照時間が多かったことにより、肥大、着色ともに良好となったことから、出荷数量が平年を上回ったため、価格は平年を下回って推移。 12月前半は、九州の産地において、前月に引き続き出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。 12月後半は、収穫時期を迎える着果数が、現在平年並みであることから、出荷数量、価格ともに平年並みに回復する見込み。 	で推移	平年並み に回復
ピーマン		宮 崎(31%) 茨 城(24%) 高 知(16%)	・ 前月は、九州、関東及び四国の産地において、10月下旬以降、気温が高め に推移したことにより、着果数が多く確保されたことから、出荷数量が平年 を上回ったため、価格は平年を下回って推移。 ・ 12月前半は、九州、関東及び四国の産地において、前月に引き続き出荷数 量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。 ・ 12月後半は、収穫時期を迎える着果数が、現在平年並みであることから、 出荷数量、価格ともに平年並みに回復する見込み。	で推移	平年並み に回復
ばれいし。		北海道(82%) 長 崎(18%)	・ <u>北海道の産地において、収量が平年並み</u> であったことから、 <u>出荷数量、価格ともに平年並みで推移</u> する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
さといる		埼 玉(57%) 千 葉(19%)	・ <u>関東の産地</u> において、 <u>収穫が順調</u> であり、 <u>収量が平年並み</u> であることから、 <u>出荷数量、価格ともに平年並みで推移</u> する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
たまねる	ぎ	北海道 (94%)	・ <u>北海道の産地において、収量が平年を上回った</u> ことから、 <u>出荷数量が平年を上回る</u> ため、 <u>価格は平年を下回る</u> 見込み。	安値水準 で推移	安値水準 で推移

注:「平年並み」とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示している。